

火 災 概 況

1 出火件数

平成 22 年中の出火件数は 47 件であり、前年に比べ 27 件減少している。

火災種別ごとの件数をみると、建物火災とその他の火災がそれぞれ 20 件で最も多く、出火件数の 85.1% を占め、林野火災件 4 件（8.5%）、車両火災件 2 件（4.3%）、船舶火災件 1 件（2.1%）となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、建物火災が 16 件、林野火災が 1 件、その他の火災が 10 件減少し、車両火災 2 件と、船舶火災 1 件は前年と同じ件数となっている。

2 火災の損害・死傷者の状況

平成 22 年中の建物焼損棟数は 27 棟で、前年に比べ 16 棟減少している。焼損床面積については、1,039 平方メートルで、前年に比べ 43 平方メートル減少している。また、林野火災における焼損面積は 19 アールで、前年に比べ 40 アール減少している。

平成 22 年中の火災による損害額は、76,960 千円で、前年に比べ 28,337 千円増加している。

平成 22 年中の火災による死傷者数は、死者については 2 人で、前年に比べ 2 人減少し、負傷者については 5 人で、前年に比べ 10 人減少している。

3 出火原因

平成 22 年中の出火件数 47 件のうち、たき火（11 件）、こんろ（6 件）、たばこ（6 件）が全体の 48.9% を占めている。また、放火及び放火の疑いを合わせると 3 件であり、全体の 6.4% を占めている。

たき火が原因による火災は前年の 18 件から 7 件減少し、放火（放火の疑い含む）が原因による火災は前年に比べ 8 件減少している。